



慶應義塾 NY 學院
(高等部)

晴れて61人が卒業

慶應義塾ニユーヨーク学院（高等部、ウエストチエスター郡パークエス、巽孝之学院長）は7日、同学院スピーカーズ・ホールで33回卒業式を行い、61人が卒業した。式は、キャップ・アンド・ガウンに身を包みやや緊張した面持ちの生徒の入場から始まり、山本富士主事による学事報告。その後、巽孝之学院長より卒業証書が授与されると、その顔には晴れやかな笑顔が浮かんだ。続いて各教科賞が発表され、成績最優秀賞および学院長賞は、それぞれ壇上で主事および学院長から表彰された。その後、在校生代表による送辞と、卒業生代表による答辭が述べられ

た。送辞では、在校生代表が先輩方への感謝の気持ちを丁寧に言葉にし、これまでの温かな導きや励ましにに対する敬意が込められていました。続く卒業生代表の答辞では、学院での学びや経験を振り返りながら、家族や教職員への感謝、そして未来への決意が力強く語られた。これらのスピーチは日本語で行われた。

「五三」の地域の日本人学校や児童生徒たちにもお馴染みのウエストチエスターの女声コーラスグループ「花みずき」（音楽監督・嶋田あや、ピアニスト・渡辺倫子）が14日、スクースデールのグリーンビル・コミニティ・チャーチで40周年記念コンサートを開催した。

1983年創立以来、さまざまなバックグラウンドを持つ人々により受け継がれてきた「花みずき」は学校や教会、図書館、シニアホームなど、毎年ボランティアコンサートを開催し、歌を通して日米の文化交流を深める活動を行っている。

記念コンサートでは日本童謡やボップス、英語曲など20曲を唄つた。第一部の最後にはニュージャージー

二「バスケット」と合唱曲「きみ歌えよ」を共演。30人を超える大合唱となり、厚みのある歌声となつた。毎年訪問しているシニアセンターの人々もバスで駆けつけるなど、コンサートは大盛況となつた。終了後、観客から「歌声もハーモニーもすばらしくて感動した」「バラエティに富んだ演目で予想以上に楽しめた」などの感想の声が上がつた。また、音楽監督の嶋田氏は「花みずきの歴史と、花みづきたちの歌いつなげてくださったたくさんの方々を思い、感謝し、なぜ私たちが歌うのかということを再確認できたコンサートでした」とコンサートを振り返つた。<https://hanamizukunyuu.jmdofree.com/>

女声コーラス「花みずき」 40周年記念コンサート



庄巻のパフォーマンス 育英のダブルダッチに大歓声

6月一回 Fair Lawri Community Centerにて studio245.dance 主催のダンスイベントが開催され、ヨーロッパ育英学園のダ

ブルダツチチームがゲストパフォーマンスとして出演した。この日は、指導者の笠間教諭もパフォーマンスに加わり、生徒3人と共にステージに登場。ダンスやアクロバットを織り交ぜたスリリングな演技で、会場は大きな歓声に包まれた。特に、目にも止まらぬ速さの繩の中でのダンスや高难度の技の連続に、観客からは「初めて見たけど、ものすごい迫力!」「とにかくすごかつた!」といった驚きと感動の声が多数寄せられた。パフォーマンス後の体験では、子どもたちがダブルダッチに挑戦。「私も跳んでみたい!」と多くの子どもたちが行列を作り、時間が足りずして体験できなかつた子が涙を流す場面も見られたほどだった。



「日本語学んでよかった」

JASL スピーチコンテスト

プリンストン日本語学校



「クラスが開講され、それぞれのクラスが『将来の夢』のテーマで発表した。」
「私の好きなこと」「なぜ日本語を勉強しているのか」
「努力賞、特別賞、優秀賞の発表に続き、最優秀賞はウッドリッジ海斗さんが受賞した。テーマ『なぜ日本語を勉強しているのか』について、母の「日本の家族会場を包んだ。

最後にJASLコースの修了式が執り行われ、2名の生徒が晴れて卒業を達成した。日々の学びや活動に貢献に取り組み充実した時間を過ごしてきた彼らは、自信に満ちた表情で門出の日を迎えた。保護者や教職員も見守り、温かい拍手が介された。

プリントン日本語学校、日本語継承語部（市原理瑠）曰本語継承語部（市原理瑠）曰本語継承語部（市原理瑠）では6月16日、JASLコース生徒191名によるスピーチコンテストが行われた。JASLコースは日本語を外国语として教えるコースで、小学1年生から8年生までの児童生徒が毎週日本語と日本文化を学んでいる。今年度は年齢・日本語レベルを元にして4

と日本語で話してほしい
という願いから、3歳から
10年間毎週日本語学校に通
い続けたことを語つた。現
地校やスポーツとの両立は
大変だったが、日本語を頑
張つて勉強してきたからこ
そ、日本への一時帰国際際
に言葉で困ることなく様々
な場面を楽しめると言ひ
た。最後に、両親のサポー
トや日本の家族の応援に感
謝し、今日の卒業を迎えた
喜びを述べた。

ケネディ・インターナショナルスクール
全日制幼稚クラス 新入児童受付中

日本語と英語のバイリンガルプログラム
朝8時から夕方6時までのお預かり
ファイナンシャルエイドの制度あり

225 East 43rd Street New York, NY 10017 • (212)-681-7929

An advertisement for Jimbo Music Studio. The top half features a black and white photograph of a piano keyboard. Overlaid on the image is the text "ニューヨークと日本をつなぐ情操教育" (Emotional Education connecting New York and Japan) at the top, followed by "楽しく学べて実力のつく" (Learn happily and develop practical skills) in the center, and "ピアノ・バイオリン・チェロ" (Piano, Violin, Cello) below it. A horizontal line separates this from the bottom text. The bottom text includes "3~4歳、5~6歳、初級・中級・上級・編入生" (Ages 3-4, 5-6, Beginner, Intermediate, Advanced, Transfer Students), the studio name "Jimbo Music Studio" in large bold letters, a phone number "☎ 201-461-6502", and the address "フォートリー・ポートワシントン" (Fort Lee, Port Washington).

The advertisement features a blue background with a grid pattern. In the top left corner is a circular logo for 'JAPANESE CHILDREN'S SOCIETY' with '46' in the center. The top right corner contains a QR code. The main title 'ニューヨーク育英学園' (New York Yuryou Gakuen) and 'フレンズアカデミー' (Friends Academy) is displayed prominently in green. Below the title are four circular images showing children in various activities: swimming, playing with a ball, eating, and playing with LEGO. To the right of these images is a yellow box containing three questions in Japanese about summer school needs.

?「英語が強くなって、家でも日本語を話したがらない...」

?「学年が上がるにつれて、日本語と英語の差が開いてきた...」

?「夏休み中、日本語に触れる機会が少なくて心配...」

そんなお悩みを解決する特別な機会が、
フレンズアカデミーのサマースクールです!

310 W. 103rd St., NYC 10025 Phone: 212-935-8535